

ご使用前に……

よく読んで予測される事故を回避して、正しく安全にご使用ください。



危険

生命に関わる重大な事故の原因となります。

- セメント系材料の混練用の攪拌機以外の用途に使用しないでください。
- 分解・改造は誤動作・破損の原因になりますので行わないでください。
- 可燃物や可燃性ガスのなどの近くで使用しないでください。
- 仕様以外の電圧を印加しないでください。
- アースは必ず接続してください。
- 動力・リモコン・ポンプなど各ケーブルの接続時は、電圧が印加されていないことを確認してから接続してください。



警告

重大な事故の原因になります。

- 停電時は必ず電源を切ってください。電源が復帰したとき急に回転し危険です。
- 運転中は回転体や可動部に触れないでください。点検などで触れる場合は、必ず電源を切ってから行ってください。
- モーター部などは運転中・運転直後かなり高温になりますので、触らないでください。
- 安全のためカバーやミキサーフタなどは必ず取り付けられた状態で運転してください。
- 羽根は羽根の摩耗が進むと羽根やRING部が鋭利になります。素手で触れないように注意してください。



注意

ケガや本体破損、物品破損の原因となります。

- 運転前には、プーリーやベルトの張力、ボルトの締め付け、配線に異常がないかを確認してください。
- 電装部分やモーターに水がかからないようにしてください。
- 移動の際はハンドルを持って移動してください。



《ご注意ください》

羽根の摩耗が進むと、羽根やRING部分が鋭利になります。
手で触れる場合はご注意ください。

仕様

型式	OKZ-30	OKZ-50N-100V	OKZ-50N-200V	OKZ-100N	OKZ-150N
ミキサー部容量	57ℓ		94ℓ	175ℓ	230ℓ
推奨混練量	15~30ℓ		30ℓ~50ℓ	50~100ℓ	50~150ℓ
ホッパー容量	32ℓ(80%相当)				
羽根	OKASAN-RING3枝羽根	プロペラ型4枝羽根	OKASAN-RING3枝羽根	OKASAN-RING4枝羽根	
	OKASAN-RING特許第4981003号				
回転数	750rpm		750rpm/1000rpm		
動力	750W 4P		1.5kW 4P	3.7kW 4P	5.5kW 4P
電源電圧	単相AC100V		三相AC200V		
定格	12.0A/50Hz 10.5A/60Hz		7.0A/50Hz 6.2A/60Hz	16.0A/50Hz 14.8A/60Hz	23.8A/50Hz 21.0A/60Hz
重量	100kg		100kg(105kg*)	210kg(220kg*)	250kg(270kg*)
寸法	巾	700mm	630mm	805mm	
	奥行	1250mm	910mm	1390mm	
	高さ	960mm	770mm	895mm	1050mm

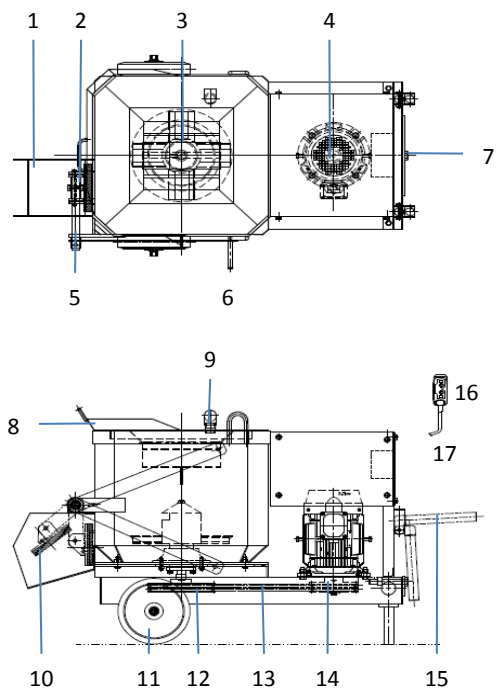
*トップランナー制度0E3対応モーターの場合

メンテナンスについて

- ① 作業終了後……
機械に付着したセメント材料を取り除いてください。
洗い水をミキサー内に羽根がすべて隠れる程度に投入し回転させて下さい。
羽根と羽根軸の間に入り込んだセメント材を取り除くために、必ず毎作業終了時に行ってください。
水がセメント色に汚れないようになったら終了です。
- ② RING羽根の交換……
RINGが摩耗してきたら交換時期です。摩耗しているところは鋭利になっていますので注意してください。
OKZ-50N・100N・150Nの場合
外す 羽根頂点のボルトを抜き、三角錐上部を外します。
横方向のボルトを緩めて羽根本体を引き抜きます。
固着している場合は、外れない場合があります。弊社にご相談ください。

- 取り付ける 羽根を羽根軸に差し込みます。横方向のボルトを締めて固定します。三角錐上部を乗せ、上からボルトで固定します。羽根軸にグリスを塗って作業すると、スムーズに出来ます。
- OKZ-30の場合
外す 羽根を樹脂ハンマーなどで、時計まわりに叩いて外してください。外れない時は、ミキサー下のベルトカバーを外してプーリーを手で押さえるなど、固定してから樹脂ハンマーなどで叩いてください。
- 取り付ける あたらしい羽根にメカニカルシールが挿入されているか確認してください。ミキサーの羽根軸側にメカニカルシールが挿入されているか確認してください。メカニカルシールの両当たり面にグリスを薄く塗ってください。リング羽根を反時計回りに回しながらミキサー羽根軸に固定してください。
- ③ ベルトの交換・・・
モーターベースを移動しても調整できないぐらいベルトが伸びて滑り出すと交換時期です。
- OKZ-50N・100N・150Nの場合
外す モーターベース固定ネジを緩めて、ベルトテンション調整ボルトでモーターベースを動かし、ベルトの張りを緩めて外してください。
- 取り付ける 新しいベルトをプーリーに掛けて、ベルトテンション調整ボルトでモーターベースを動かし、ベルトの張りを調整してください。モーターベース固定ネジを締めてください。
- OKZ-30の場合
外す ベルトカバー・モーターカバー・側面カバーを外してください。モーターベース固定ネジを緩め、ベルトの張りを緩めてベルトを外してください。
- 取り付ける 新しいベルトをプーリーに掛けてから、モーターベース固定ネジを仮止めしてください。ベルトテンション調整ボルトでベルトの張りを調整して、モーターベース固定ネジを固定してください。取り外したすべてのカバーを取り付けてください。
- ④ 吐出口パッキンの交換・・・
水漏れが起きてきたら交換の時期です。
- 外す 吐出口・ハンドル弾着ピンを抜き、吐出口セットをミキサーから外してください。接着剤でパッキンは接着されていますので、カッターナイフなどで削ぎ落としてください。その際は手などを切らないように注意してください。
- 取り付ける 新しいパッキンを吐出口フタ中央に接着剤で接着してください。接着剤が乾いてから吐出口フタセットと吐出ハンドルを吐出出口・ハンドル脱着ピンで固定してください。

各部名称(OKZ-100N代表例)



■OKZ-100N代表例

- 1 吐出シュート
- 2 吐出口セット
- 3 RING羽根
(OKZ-50N・100Vはプロペラ型4枚羽根)
- 4 モーター
- 5 吐出出口・ハンドル脱着ピン
- 6 吐出ハンドル
- 7 ベルトテンション調整ボルト
- 8 フタ (こぼれ止め付)
- 9 給水口 (ホースニップル25A)
- 10 吐出口パッキン
- 11 車輪×2
- 12 羽根軸側プーリー
- 13 ベルト
- 14 モーター側プーリー
- 15 移動用ハンドル
- 16 スイッチ (ON/OFF2点式)
- 17 コード2m
- 18 モーターベース
- 19 サーマルスイッチ付マグネットスイッチ
(OKZ-100N・150Nのみ)

■ご注意

- ①OKZ-30/OKZ-50N-100V/OKZ-50N-200Vは電源投入時に、スイッチが必ずOFFになっていることを確認してください。ONになっていると、電源投入時に羽根が回転するので、大変危険です。
- ②サーマルスイッチのリセット方法は自動リセットとなっています。交換の際はご注意ください。
- ③OKZ-30の各部名称は、別途OKZ-30カタログをご参照ください。

代理店



産業機材を開発する

岡三機工株式会社

本 社 〒554-0012 大阪市此花区西九条2丁目8-14 ☎06(6464)0570 FAX.06(6462)0670
 東京支店 〒210-0803 川崎市川崎区川中島2丁目6-3 ☎044(266)2771 FAX.044(266)2229
 福岡支店 〒811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東4-7-8 ☎092(938)7222 FAX.092(938)7226
 名古屋営業所 〒476-0006 愛知県東海市浅山3丁目121 ☎052(604)0780 FAX.052(604)0781
 大阪工場 〒572-0824 寝屋川市豊島東3丁目30-15 ☎072(822)5276 FAX.072(822)5275

<http://www.okasankikou.co.jp>